

家畜衛生

講師名	武田 哲	実務経験等	家畜保健衛生所での獣医師としての経験を活かし、家畜衛生の重要性を理解し、牛の基本的な衛生管理方法と牛の主な疾病に係る知識を習得するための講義・実習を担当している。
-----	------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専攻科目	畜産・共通	必修	2	前期	30	2
使用教科書・副教材	コアカリ動物衛生学: 文永堂出版、自作プリント、家畜保健衛生関係リーフレット等					
授業の目的	家畜の生命及び家畜の健康保持と安定的生産を確保するためにあるのが家畜衛生である。家畜衛生の重要性を理解するのが目的である。					
授業の到達目標	牛の基本的な衛生管理方法と牛の主な疾病を覚える。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
10月7日	家畜衛生学	家畜衛生学の概要	2	講義	
10月7日	家畜伝染病の防疫	国内の防疫体制と疾病対策、危機管理計画	2	講義	
10月14日	家畜伝染病の防疫	海外からの伝染性疾病の侵入防止、特定家畜伝染病防疫指針、海外における発生動向	2	講義	
10月14日	生産衛生と農場HACCP	農場HACCP、衛生管理ガイドライン、飼養衛生管理基準	2	講義	
10月21日	飼育施設の消毒	飼育施設の消毒、伝染病発生時における消毒など	2	講義	
10月21日	家畜用ワクチンとプログラム	動物用ワクチンとは、その種類	2	講義	
10月28日	家畜用ワクチンとプログラム	ワクチネーションプログラムの概要	2	講義	
10月28日	家畜の生産環境	一般環境条件、ストレス、畜舎の換気など	2	講義	
12月23日	放牧衛生	わが国の放牧、管理と衛生	2	講義	
12月23日	輸送衛生	家畜の輸送にかかわる諸問題、輸送病	2	講義	
1月6日	家畜の中毒と飼料安全性	家畜の中毒	2	講義	
1月6日	家畜の中毒と飼料安全性	ポジティブリスト制度と飼料安全法	2	講義	
1月13日	家畜排せつ物と畜産環境	家畜排せつ物と畜産に関する環境問題など	2	講義	
1月13日	家畜排せつ物と畜産環境	畜産関係の悪臭とその対策	2	講義	
1月27日	まとめ	模擬試験ほか	2	講義	
合計			30	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験の得点、学習態度、出席状況により評価する。
評価割合: 筆記試験70%、平常点30%(学習態度、出席状況)

履修に当たっての留意点等

・受講に際しては、事前に教科書等に目を通しておくことが望ましい。授業はテキスト及び自作プリント等に沿って行うが、項目が入れ替わることもあるので注意すること。